

# 献 呈 の こ と ば

学 長 谷 岡 一 郎

今年度退職なさる方々は、山本誠先生（会計学）、海堀勲先生（十六世紀フランス語・フランス文学）、塩田眞典先生（理論経済学・経済思想・文化経済学）、藤井孝士先生（ドイツ文学）、片野真佐子先生（近代日本思想史・女性史）、小川正博先生（中小企業経営論・ビジネスシステム論）、金井一頼先生（起業家活動とベンチャー経営・クラスター・経営戦略とイノベーション）の七名の教授です。いわゆる名物教授・看板教授ばかりですね。

温和な性格で誰からも尊敬される山本先生は、進んで学内外のいろいろな役職に就かれてくださいました。その結果としていつも大変助けていただきました。学長としてこの場をお借りしてお礼申し上げます。会計学ではずいぶん活躍され、著書も充実しておりましたこと、存じております。

海堀先生は、私の提案でスタートした、本を読む講義「グレート・ブックス」に熱心に取り組んで下さいました。おそらく先生自身が、本の大好きな方だからでしょう。図書館の館長も長くお務めいただきましたが、話題の豊富な方で、いつも皆からの尊敬を集めておりました。

塩田先生にも図書館長をお願いしました。専門の経済学ではさまざまな業績がありますが、仲間内でより有名だったのは、その趣味の広さでしょう。特に音楽は、素人の域をはるかに超えるレベルでした。アナログのレコードを数千枚集めておられますが、職業を間違えていた可能性が大だというのが、衆目の一致するところです。

藤井先生は、いつも静かなムードのダンディな紳士でした。あまりお話する機会がありませんでしたが、性格や論文はよく存じ上げておりました。ドイツ語の研究で数々の業績を挙げられ、教えるテクニックも高いものと、学生たちから聞いています。どうか、これからもお体に気をつけてお過ごし下さい。

片野先生には、皇室に関する話を何度か伺いました。日本でも有数の皇室ウォッチャーなのですね。著作も多数いただきましたが、特にライフワークとしておられた柏木義円氏に関する著作群は、大変立派なものと考えています。大学院設立時より、いろいろな場面でご一緒させてもらいました。大震災の時も大変でしたね。今となっては良い思い出もあります。

小川先生も大学院で一緒に、ご尽力いただいた思い出が、まず浮かびます。中小企業に関してこの人ありと言われた有名人で、多くの著書・論文を執筆されています。リタイア後は海の近くに住んで、釣りを楽しむご予約とお聞きしましたが、先生のこと、またすぐ次のテーマの執筆にかかられるものと信じております。むろん釣りも超一流をめざして下さい。

金井先生は研究分野が広く、しかも深い先生です。幅広い知識と、すぐれた見識をお持ち

で、「とてもかなわんな」といつも感じる先生の一人です。有名な著書・論文がいくつもありで、いろいろな学会の重鎮を務めておられました。「忙しい人ほど時間の遣い方が上手い」という言葉のお手本のような先生でもあります。

以上の七名ですが、正直、痛い戦力ダウンです。むろん何人かの先生には、引き続き大商大で教鞭をとっていただいたり、特定の役職をお願いすることが決まっており、これからもいろいろとお世話になることでしょう。そうでなくとも縁はつづき、ずっとおつき合いできるものと思っています。少なくとも周年の節目には、何をおいてもおいで下さい。

いつも言っていることですが、「学び」に引退はありえません。単にひとつの区切り、ひとつの節目というだけのことです。少し暇が増える先生もおられるでしょうから、忙しすぎてできなかった研究を続けられるでしょう。新たな報告をお待ちしたいと思います。皆様体には充分気をつけられお元気でお過ごし下さい。これまでのご甚力に対し、あらためましてもう一度感謝申し上げます。